

## まなび部会

まなび部会長を引き受け、「まなび部会は何でしょうか？」と自問自答していました。その答えは、「まなぶことは楽しむ」ことだと理解しました。生野の歴史を知り伝統を引き継ぎ、自分たち部会員だけでなく参加された方と共に、イベントを楽しく価値あるボランティア活動をするグループであると思いました。

昨年6月11日第4回「わが町を知ろう・史跡生野銀山の見学」では、60人近くの参加者がありました。シルバー生野さんのご協力により、生野町のルーツである鉾山の歴史を学び、時の権力を持った人々の財政を保持できたのは生野銀山の銀である事を知りました。

10月1日の郷土料理講習会「さば寿司を作ろう」には、約50人の参加者があり好評でした。11月29日には、「図書おたのしみ会」を開催しました。3月には、「子育て支援のバザー」と銀谷のひな祭りにこども着付けサービスを行う予定です。

今後とも、まなび部会の活動を楽しみながら学んでいきたいと思えます。

まなび部会 部会長 小谷英樹

## 図書おたのしみ会

11月29日(火) 栃原コミュニティセンターで、生野こども園年長組さんと栃原地域の方々との交流会をしました。

栃原「一の滝不動尊」建立にまつわる手作り紙芝居を見た後、お手玉やこま回し、けん玉やぱっちゃん、ぼうずめくりなどの遊びで交流を楽しみました。

その後、旧栃原こども園にできた「きらくえんディサービスセンター」に場所を移し、園児が元気な歌声を披露したり肩をたたいたりして、お年寄りの方々に大変喜ばれました。また、園児も大変楽しそうでした。

### \*園児保護者からのお便り

本日はありがとうございました。子どもがとても喜んで帰ってきて、色々話してくれました。「よう来たったなあ」と話しかけてもらったこと、サツマイモのおやつがおいしかったこと、肩たたきや歌を歌ったこと等、地域の方々との交流を体と心で感じる事ができたようです。こま回しも、ご指導がよかったのか、うまく回せるようになっていました。

帰りのバスの中で眠ってしまったようです。たった5分ぐらいなのに・・・。

受け入れていただく準備が大変だったと思います。ありがとうございました。



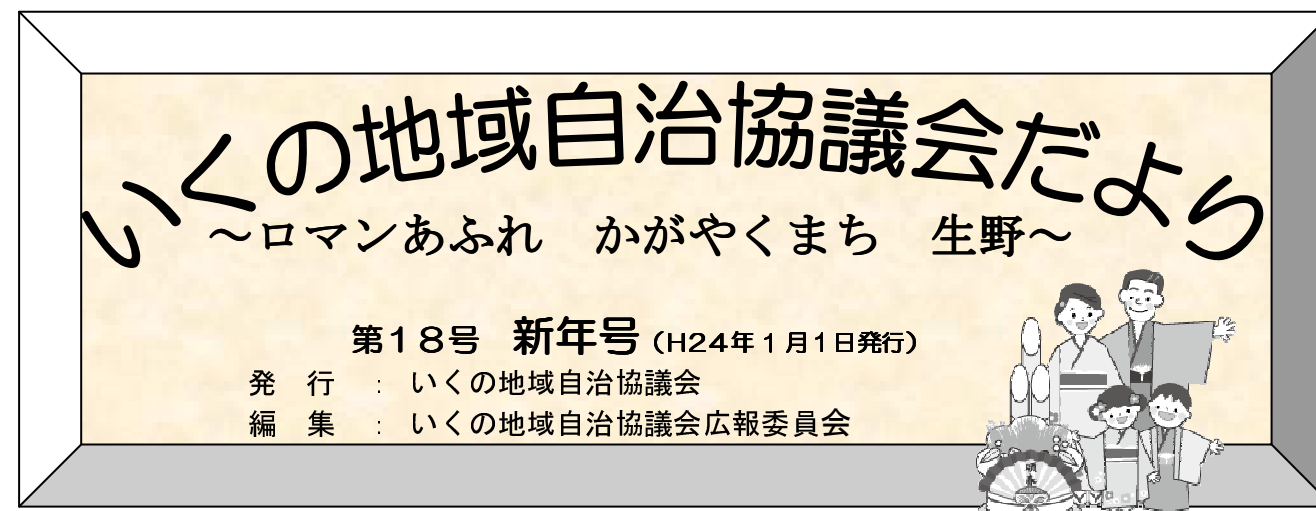
「むずかしいなあ」  
「ひもの巻き方をしっかりと」



「元気な歌声を聞かせてくれて、ありがとう」



「うまい、うまい。上手に出来るようになったなあ」



## 会長あいさつ

あけましておめでとうございます

会員の皆様方におかれましては、ご家族お揃いで、輝かしい新年をお迎えのことと、お喜び申し上げます。

常日頃よりいくの地域自治協議会の運営にご尽力頂いておりますこと、心より感謝申し上げます。

皆様方の活動やお力添えによりまして、いくの地域自治協議会も地域の皆様方に少しずつ関心を持って頂ける様になって来たと思えます。

各部会員の皆様や多くの会員の皆様のご協力で、色々と行事を進めて頂いており、昨年はふくし部会が計画、実施した「杉良太郎そっくりショー」の公演には多数の方々にご来場いただき、公演を盛り上げていただきました。今後も色々と計画を立て、皆様方と共に進めていければ…と思っています。

今年4月から1年間、緊急雇用活用事業で職員が1人増え、新しい計画を立て実施することにしておりますが、この計画を進める上で、各ご家庭などにアンケートやお伺いすることがあると思えますが、その節はよろしく願いいたします。

今年も、キャッチフレーズの『ロマンあふれ かがやくまち 生野』を目指して、地域の皆様方と共に、いくの地域自治協議会をもっと活力ある会にして行けるよう、微力ながら努力する覚悟でございます。会員の皆様方のご指導ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。

最後になりましたが、皆様方のご健勝とご多幸を心よりお祈りし、新年の挨拶とさせていただきます。

会長 杉本英治

### ★地域づくりソフト事業の申請はお早めに★

いくの地域自治協議会では、地域の活性化および交流を目的としたソフト事業を実施する団体に対して、事業にかかる経費の一部を補助しております。

締め切り・・・平成24年1月31日

いくの地域自治協議会 TEL/FAX 679-4502 E-mail : [ikuno-jichi@asago-net.jp](mailto:ikuno-jichi@asago-net.jp)  
いくの地域自治協議会広報委員会 <http://asago-net.jp/users/ikuno-jichi>



## 自治協視察研修会への参加

去る11月17日、朝来市内の地域自治協議会は、自主財源の確保を実践している淡路市生田地域活性協議会を訪問し、会長と事務局長から組織運営や活動状況等についての説明を受けてきました。

生田地域は、周囲を山で囲まれた4km四方の地域で、民家は70軒。平成19年に景観形成としてそば栽培をしたところ花がきれいに咲いて「そば花まつり」を開催し、当初400人だった訪問者が今年は4,500人にのぼったそうです。各地のイベントで蕎麦の販売を始め、昨年4月には、廃止になった保育所を整備し「そばカフェ生田村」をオープンして、喫茶と蕎麦の販売を始めました。ここは土、日、祝日のみの営業ながら、利用者は1カ月800~1,000人で、9月には地元の蕎麦粉は使い切ってしまったということです。「そばカフェ生田村」を交流拠点として色々な補助事業を導入しつつ、地域活性化に取り組まれています。会長は、「何をしてもまとまらない地域から活性化に取り組む地域へ姿を変えつつある」と話されました。



## ふくし部会



明けましておめでとうございます。

ふくし部会では「健康でふれあい、ともに生きるまちづくり」を目標に、活動しています。

9月15日に開催しました「ふれあい観劇会(杉良太郎ソックリショー)」には、約200名の参加を頂き有り難うございました。

今後も、より多くの方に参加して頂く為に、各種団体のご協力を頂き継続して行きたいと思っております。皆様方のご意見、ご要望等がありましたら、自治協事務局迄ご遠慮なくお聞かせ下さい。

※ふくし部会では一緒に活動して頂ける方を求めています。

本年も、男の料理教室開催を予定しています。料理好きな方、奥さまやお子さまに一度料理を、と思っている方の参加をお待ちしています。

開催日時：平成24年2月4日(土)午前10時より

試食後閉会(午後1時30分予定)

開催場所：生野保健センター2階調理実習室

内容：地元食材(黒川大根、岩津ネギ、里いも、白菜等)を使用した料理

参加費用：200円(当日各自エプロンをご持参下さい)

ふくし部会 部会長 日下部 謙一



昨年の男の料理教室



日下部部会長

## あんしん部会



足立部会長

新年明けましておめでとうございます。

平素はあんしん部会の活動につきましてご支援、ご協力いただきありがとうございます。

あんしん部会は、地域住民の皆様の「あんしん・あんぜんなまちづくり」をテーマとして、防犯・防災に関する活動を行っております。

主な活動といたしましては、青色回転灯パトロール車による見守り活動や、普通救命講習(AED)、小学校の自転車教室開催支援、緊急情報キットの配布などがあります。特に、パトロール車による見守り活動につきましては、週2回を目標に部会員を中心に皆様のご協力を頂きながら活動しておりますが、より一層活発な活動が出来ます様、ご協力をよろしくお願いいたします。

また、普通救命講習(AED)については、各所に設置しておりますAEDを緊急時に有効活用できますように受講率向上を図ってまいります。

今後、地域の皆様方が「あんしん・あんぜん」に暮らせる地域づくり・まちづくりに努めてまいりますので、ご支援の程、よろしくお願いいたします。

あんしん部会 部会長 足立守広

## みどり部会

明けて2012年、日本の四季は先が見え、望みがあります。

みどり部会では「花いっぱいのもちづくり」「一人ひとりのエコ活動」「川をきれいにしよう」などの活動をしています。

水と緑のきれいな分水嶺のまちづくりを目的に、先の永い取り組みです。



源流探訪  
参加メンバー

「出来ることから始めよう！」からそれぞれに役割があり役割を果たすことが出来ます。環境をよくしましょう。皆さんもぜひ、みどり部会に参加しませんか？ よろしくお祈りします。

昨年11月23日、紅葉が深まった市川の源流探訪を行いました。

みどり部会 部会長 小田正儀



小田部会長

## いきいき部会

忘れられない、忘れてはならない2011年から2012年へと、今年もまた、新年が明けました。新たにリセットできるかのように、1月1日からまた始まります。

当部会では今年、特産品の開発に挑みます。特産品といっても食べるものばかりでなく、お土産になるような物や記念に持ちたくくなるような物など、いろいろなものが考えられます。

それが物なのか、人や文化なのか、場所なのか、これから全くのゼロベースで考えていこうと思います。会員の皆様にも、アイデア・参画・協力など求めることもありますので、その際はどんどん参加していただきますよう、よろしくお願いいたします。

また、今年も夏物語のテント村、銀谷まつりでの鉱山食堂などに参加し、地域の活動を盛り上げていこうと思いますので、よろしくお願いいたします。

いきいき部会 部会長 米野彰生